

# 安心して診療ができる歯科医療政策を

理事長 小澤 力

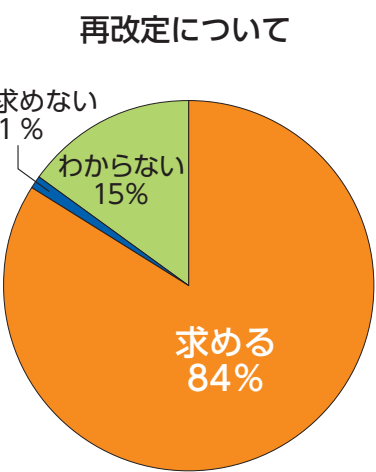
## 主な政党の医療関連法に関する国会での態度

	自民	公明	維新	国民民主	立憲	共産	社民	れいわ
保険証存続か廃止か (2023年通常国会)	廃止	廃止	廃止	廃止	存続	存続	存続	存続
75歳以上の医療費 窓口負担2倍法案 (2021年通常国会)	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	反対
75歳以上の医療 保険料引き上げ (2023年通常国会)	賛成	賛成	反対	賛成	反対	反対	反対	反対



**再改定を求める現場の声**  
協会の声  
協会が最も望むのは、長期的に見たら算定した方が損になる。初診と再診をその分上げればいいだけの話ではないのか、「技術面の点数アップがない」などの会員の実感がありません。総枠拡大に向けた抜本的な改善が求められます。

自民党総裁が替わり、今月9日衆院解散、15日公示、27日投票で総選挙が実施されることとなった。2023年〜2024年での国会論議、また2024年6月1日の診療報酬改定では、社会保障が削られその大本に大軍拡が横たわっていることが明らかとなった。この間、協会はさまざまなアンケートに取り組み会員の声を受け止め運動に活かしてきた。総選挙を迎えるにあたって協会がどのような歯科医療政策を望むのか小澤力理事長が語る。



**オン資と療担規則改定と「脅し」**  
まさに激動の1年間で、2022年9月5日、厚労省は2023年4月からマイナナンバーによるオンライン資格確認システムの体制整備を原則として義務づける療養担当規則の改定を通知し、2022年10月、河野太郎デジタル相が2024年12月で現行の健康保険証の新たな発行を止めると発言。いわゆる政府の「医療DX——国民皆保険を人質にとり、医療機関をその

### オン資と療担規則改定と「脅し」

手先を使うマイナンバーカードの強引な普及政策が顕在化しました。8月のマイナ保険証利用率が12・43%と低迷しているのを見た政府は9月、こともあろうにマイナ保険証の利用が進まない理由を医療機関のせいにする口ぶりで医療機関への「脅し」メール送信に乗り出しました。これには協会アンケートに対し約200人の会員から怒りの意見が寄せられました。9割の会員が「政府のやり方に問題がある」と答えています。協会は患者・医療機関の情報が守られ、医療の質の向上に寄与するデジタル化は否定していません。現在の政府のやり方に対し会員からは、「もっと移行期間を長く設定すべきです。トップの実績にこだわって現場を混乱させています」や「最近の厚労省、デジタル庁や河野太郎の言動は『強権』的を超えて『狂犬』じみてます。自らの失政を恥じず、省みず、現場の声を聴け」など、政府のやり方自体への強い抗議があふれています。

### 金バラ・消費税・コロナの三重苦

歯科では、2019年に顕在化した金バラの高騰、同年10月からの消費税10%への引き上げ、2020年からはコロナ禍で感染防止対策の一方、厚労省通知により受診抑制が起るなど大変な苦境が続きました。それでも協会の会員数は増えてきました。しかし、2022年のオンライン資格確認の義務化、オンライン請求の義務化などにより、ベテランの先生方による閉院の前倒しが一気に進み協会の会員数にも影響が出ています。これは大阪だけではなく、全国でも初めて歯科医療機関が大きく減少に転じています。歯科開業医にとっては、金バラ・消費税増税・コロナと三重苦で打ちのめされた後の最後のトドメと言っても過言ではありません。

### 総選挙で厳しい審判を

しかし政府は軍事費を倍増させ、医療・社会保障の抑制、疾病の自己責任化、医療の市場化を強行に進めています。センシティブな医療情報・個人情報取り扱いの漏洩の問題や責任の所在を未整備にしたまま、今年中の保険証廃止に固執するのは、医療情報の市場化・儲けがその先にあるからに他なりません。医療

**選挙へ行こう**  
齋賀 史郎 (豊中市)

9月に立憲民主党政の代表選と自民党の総裁選が行われた。旧聞に属するので省略。  
自民党総裁選では不思議なことに、現職大臣を含め数人の候補者から現行の保険証の存

**個人の健康状態知る  
マイナの利活用懸念**  
門奈 丈石 (大阪市平野区)

マイナ保険証に健康保険証を統一すれば、個人の体格・健康状態が簡単に知り得る。それを、期限ありきの強引さで実施しようとする。最近の右傾化する政府や社

**談話室 だんわ室**

この一冊上の伯父は「今のままの世の中で良ければ自民党。変えなければ共産党」とまだ選挙権も無い中学生の私に「選挙の極意!?」を伝授したが、本質的には間違っていないと思う。現状では自公維にNOを突きつける事が、自民党の暴政を止める事になり、我々の分野で言えば、各種医療改悪を止める最も効果的な方法だと信じる。  
さあ、選挙へ行こう。

**医療改悪を止める効果的な方法**

無謀な開発と、福祉・府民生活の切り捨て政策が推し進められていいます。自民党総裁が変わると、この方向は変わりません。間近に迫った総選挙で、厳しい審判を下さなければなりません。協会は会員の先生方から寄せられた現場の声に依拠し、全ての政党にその声を届け国政に活かされるよう運動してきます。今後も安心して診療ができる歯科医療政策を求めて取り組んでいきます。

**会員投稿を募集します**  
会員から寄せられた投稿は「だんわ室」で掲載します。募集原稿は600字程度で、テーマは自由です。掲載の可否は新聞部会で決定します。  
【送付先】FAX06-6568-0564、〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 (担当・新聞部)